もっと暮らしやすい町へ！

竜王町コンパクトシティ化構想

竜王町コンパクトシティ化構想は、町の中心部だけを活性化するものではなく、役場周辺に教育や交流の拠点を集約し、生活利便施設や新たな住宅地を整備することで町の「中心核」を形成するとともに、集落や団地を生活拠点として「コミュニティの維持・活性化」をめざすものです。あわせて、**中心核と各地域を公共交通や道路、情報の「ネットワーク」で結ぶことにより、「町全体のバランスの取れた発展」と「町内外から魅力を感じてもらえるまち」を創っていくという考え方が竜王町のコンパクトシティ化構想です。**

【中心核】
- ▶教育施設等の集約
- ▶交流空間の整備
- ▶民間施設の誘導
- ▶居住基盤の整備

ネットワーク
- ▶公共交通網の整備
- ▶道路網の整備
- ▶情報ネットワークの整備

【集落・団地】
- ▶自治会機能の維持
- ▶若者世代の定住
- ▶高齢世帯の安心
- ▶同居や近居

中心部だけを活性化するものではなく、

町全体のバランスの取れた発展！魅力あるまちづくり!

中心核の整備

教育・交流施設を集約した「交流・文教ゾーン」、竜王小学校・こども園跡地を活用し、戦略的に新たな住宅地を整備する「居住ゾーン」、生活利便施設の立地を誘導する「複合ゾーン」と既存の商業施設や役場をはじめとする「商業ゾーン」と「行政ゾーン」の５つのゾーンを順次整備することによって、町の中心部ににぎわいと生活の利便性を高めるとともに、脱炭素社会やデジタル化社会の実現にも貢献する中心核を形成します。

時代に即した、魅力的なまちの創造

輝竜の郷づくり懇談会の様子

竜王町公民館

農村環境改善センター

竜王小学校の移転新築

築50年を経過した竜王小学校は、これまでの検討経過を基に移転新築により整備を進めますが、コミュニティ・スクールとしての取り組みや避難場所としての位置付けなどから、竜王町教育行政基本方針の合言葉である『キラリと光る教育で竜王の人づくり・まちづくり』を踏まえ、竜王らしくキラリと輝く『地域とともにある学校』づくりをコンセプトとしています。

移転新築による効果

- 校舎や体育館、プール、グラウンドなどの一体整備により教育環境が向上
- 工事期間中の学校教育への影響がなく、仮設校舎が不要
- スクールバスや送迎時に交通量の多い道路の横断がなくなり、安全の確保につながる
- 教育施設が近接することで施設間連携が深まる
- 周辺施設とあわせ、学校行事時の駐車スペースを確保することができる

現在の竜王小学校の状況

教室

廊下

手洗い場

ピオトープ

交流・文教ゾーンの整備

竜王小学校、こども園、給食センター、学童保育所、コミュニティセンター、公園をゾーンとして、一体的に整備することで

❶他のゾーンとの相乗効果により町全体の暮らしやすさが向上します
❷防災機能を整備することにより、町全体の防災力が向上します
❸ゾーン内の車両通行を制限することにより子どもの安全を確保します
❹公民館や図書館、役場が近接することから施設間の連携が深化します
❺小学校、こども園跡地への住宅整備により若者定住を促進します

「交流・文教ゾーン」の整備には、国・県の補助や起債を活用し、総額は約55億円を見込んでいます。

中心核の整備イメージ